建材

建材・エンジ首脳
2016年 入社式挨拶

業界最大の地位揺るぎないものに

日鉄住金建材 小塚修一郎社長

「環境がどんなに変わろうとも変化に対応し新たな価値を加えることができる会社が生き残る。今年は当社の発足から10年の節目の年。今月1日には日鉄住金コラムと統合して新たなスタートを切った。業界最大の総合コラムメーカーとしての地位を揺るぎないものにし、顧客サービスを一層高めたい。会社の力は縦糸と横糸で表すことができる。会社の力を強くするには縦糸と横糸の両方、つまり一人ひとりの個としての成長とそれらをまとめて会社の力として発揮させる組織の力、チームワーク力の向上が必要だ。『個の力』を蓄える一番の近道は与えられた担当業務にひたすら熱心に取り組み、その業務に誰よりも詳しい社員となることだ。自分の担当業務では社内の誰にも負けないという強い使命感と情熱を持ち、仕事に取り組んでもらいたい。『一芸に秀でる者は多芸に通ず』という言葉の通り、1つの道を極めた人は他の多くの事柄も身につけることがたやすくなる。最初の配属で鍛えられた力がどの職場でも通用することを将来実感するはずだ。また、社内で協同し仕事をするには信頼し、されることが必要だ。周囲から自分が正しく理解され信頼されるためにどうするべきか常に意識してほしい」

しっかり現実見つめ着実に歩んでほしい

ジェコス 弓場勉社長

「晴れて社会人としてのスタートを切るに際して、これまで育てて頂いたご両親や周りの方々に感謝の気持ちを持ってほしい。足元では国際情勢や自然災害などで多くの異常事態が発生している。社会人としての第一歩を踏み出す皆さんはこうした時代を生き抜くために、どのような事態にあっても徒らに周囲に振り回されることなくしっかり現実を見つめ、確実な足取りで自分の道を着実に歩んでいくことが最も大事だ。胸に刻んでほしい。建設業はここしばらくは非常に繁忙となりそうだが、こうした中で当社は2年後に創立50周年を迎える。昨年策定した中期3カ年経営計画で掲げた連結売上高1千億円以上、経常利益85億円以上などを達成し、建設業をサポートするリーディングカンパニーの地位確立を目標に全社を挙げて取り組んでいる。今年は果敢に挑戦する年と位置付けており、そういった躍動する時期に皆さんは当社の社員となった。先輩と力を合わせ会社を成長させる原動力となってもらいたい。これから長い会社生活を送る中で、まずは健康管理と身の安全の確保をしてほしい。また、常に誠実を旨として人からの信頼を得てもらいたい。そして常に目標を持ち何事にも積極果敢に挑戦してほしい」

戦力として活躍を

JFEシビル 藤井壽英社長

「当社はここ数年大きく業績を伸ばし成長している。15年度は売上高704億円、経常利益50億円の見込みで16年度は売上高850億円、経常利益55億円を計画しており、17年度には売上高1千億円を目指したいと考えている。そのためにも皆さんへの期待は大きく戦力としての活躍が求められている。人が成長するのは企業が伸びる時であり、力さえあればどんどん仕事の幅が広げられる。まさに現在の当社がそのような状況にあり、是非頑張ってもらいたい。皆さんには建設業に携わるプロとしての使命感を持ち、自ら考え行動することを目指してほしい。社会人としてまず身だしなみを整えルールを守るという当たり前のことをしっかり行ってもらいたい。そして給料をもらうプロとして見合う仕事ができるようにできるだけ早くなってほしい。良い上司や先輩を見つけ学び、それを手がかりに自分なりに考えてもらいたい。何事もスタートダッシュが肝心で、仕事を進めるために必要な資格をできるだけ早く取得してほしい。資格を取ることでプロとしての自覚と自信が持てる。会社としてもサポートしていくので頑張ってもらいたい。心と身体を鍛え、皆さんが戦力として活躍することを心待ちにしている」

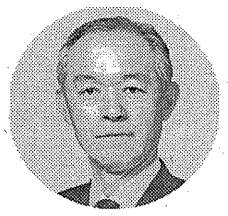
誇りと使命感持って

JFE建材 久保亮二社長

「皆さんの元気な顔を拝見し大変嬉しく思う。これから当社をもっともっとよい会社にするのは皆さん自身だ。このことを忘れずに頑張ってもらいたい。安全は全てに優先し、収益にも当然優先する。これからそれぞれの職場に配属されるが、安全に対するルールをよく理解し決して自分勝手な判断で行動しないようにしてほしい。皆さんが扱う鉄は薄いものは鋭利な刃物であり分厚いものは重量物だが、ルールを守れば大丈夫だ。また、挨拶は社会生活や会社生活の一丁目一番地の行動だ。元気な挨拶は周りを明るくし、自分の力も湧いてくる。笑顔を作ると気分もよくなる。返事の音程は是非『ラ』の音程で常に元気よく大きな声でお願いしたい。当社は社会に役立つより良い商品をより低コストで納期通りに安定的に供給するという仕事をしている。自分の会社や仕事が世の中の役に立っているという誇りと使命感を持ってもらいたい。辛い時にもそれが必ず復元力になるはずだ。当社のモットーである『明るく前向きに、みんなでチャレンジ！』を実行し一緒に頑張っていこう。当社の将来は皆さんが創っていく。業界ナンバーワンのメーカーにしていこう。若く、明るい風を職場に吹かせてもらいたい」

関心の対象広く持って

新日鉄住金エンジ 藤原真一社長



「当社は企業理念として『社会に貢献し続ける必須の存在』となることを掲げ、社会・産業・都市インフラを複合的に支える事業を展開している。異なる6事業分野を包含するユニークなエンジ会社であり、世の中の変化を複眼的に捉えることができる。担当の仕事のみではなく、他の事業部の動向など関心の対象を広く持ってほしい。当社は今年で発足から10周年を迎える。06年に旧新日本製鉄から独り立ちして以降、先輩たちの努力でしっかりとした事業基盤が築かれた。これからの10年、20年に向けこの会社の未来を一緒に切り拓いていこう。足元の経営環境は大変厳しい状況だが、厳しい時にこそ人間は色々と知恵が湧いてくる。仕事を少しずつでも改革・改善していけば一皮むける成長のチャンスとなる。あらゆる課題に前向きに取り組んでもらいたい。会社生活の心構えとして日本の武道や伝統芸術の世界で師弟関係について語り継がれている『守・破・離』という思想を持ってほしい。『守』は先達の教えを身につける段階、『破』は先達を超える段階、『離』は独り立ちする段階を示しており、まずは仕事の基礎をきっちり身につけて、いずれは先輩を超え独り立ちするという志をしっかり持ってもらいたい」

新風を吹き込んで

JFEエンジ 狩野久宣社長

「当社は発足して14年目となるが、ここ5年間は最高益を更新し続けている。昨年度も受注高、売上高、経常利益が過去最高となりそうだ。変化に敏感に反応し、迅速果敢に対応しなければ生き残ることができない時代で、これまでの古いやり方を脱ぎ捨て業務の仕組みを根本から変えることが必要だ。皆さんは若いエネルギーとフレッシュな感覚を発揮し、会社に新風を吹き込んでほしい。三現主義を心掛け地に足のついたプロフェッショナルになってもらいたい。また、主戦場は海外だ。世界中に当社の旗が立っている未来を実現させよう。そのためにも世界で通用する人間力を身につけてもらいたい。そして常に誠実な姿勢を忘れない、信頼され自立した人間になってほしい。仕事は山登りに似ている。十分に準備して状況の変化を読み、登っている時には苦しいがハードルが高いほど頂上に立った時の感動は大きい。私は入社して44年目となるが、これまで苦しい局面でもプラス思考で乗り越えてきた。一生懸命取り組み、やりがいを見つけ感動を味わってほしい。人との出会いを大切にすることも大事だ。一つ一つの出会いからしっかりと人脈を広げて効率的に気持ちよく仕事をしてもらいたい」